

活動紹介

■活動場所

(事務所は四日市大学内6号館)

四日市市内の公的機関および市県外

■活動日、活動頻度

毎週木曜日に定例会を開催、随時活動

■活動内容

「環境教育」「地域循環型社会づくり」「四季報“共創”」の発行を核として活動。

29年度の学校教育もいなべ東員町4校の小学校や八郷地区や市内の公的機関、また、県外からの依頼を多数受けて、ESD教育プログラムの実施、エネルギーやリサイクルの科学実験や手作り工作など、プログラムを充実しながら実践しました。

地域循環型社会づくりでは、劣化する土壌の改良や農産物の品質を高めるための、有効な農業資材としての活用するため、「竹林整備で発生する竹を竹粉として有用か実証試験研究」として、当大学の環境情報学部や、三重県四日市農林事務所が支援する若手農業者の方々とともに、行っている段階であります。

四季報“共創”は、単なるPR紙にならないように、社会での様々な視点での寄稿をお願いして掲載しています。送付先は、全国の温暖化活動防止センターや中部7県、滋賀、静岡、三重県市町などへ送付しています。

また、本年は全国規模で活動をされている「グリーン連合(東京)」からの事業依頼を受け、「鉄道沿線でつながり合おう」の企画し、桑名、東員、いなべ、四日市、伊賀、伊勢、南勢から行政、学校(高校・大学)、企業、団体、議員、個人での参加を得て、三重県議会でも紹介されました。



代表者の環境や活動に関する思い

身の回りの環境から地球規模に至る環境問題まで、次世代へどんな環境を残せるのか、現実を見つめ、地域社会の課題は何なのかを常に念頭に置き、「人材育成」や「地域の課題」に貢献できる団体であり続けたいです。

それには、常にメンバーは切磋琢磨しながら、多くの人々や多分野の団体と手を繋ぎ、目的を共有して進めていきます。すぐには結果を出すことは難しいことですが、少しでも、明るい未来社会を築く礎になると確信しています。

その他PR

29年度 パナソニック教育財団から“奨励賞”を授与しました。